

# 平成23年度 緑地管理関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

財団法人 日本植物調節剤研究協会

平成23年度緑地管理関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成23年度緑地管理研究会に引き続き、平成23年10月24日(月)～25日(火)に浅草ビューホテルにおいて開催された。  
この検討会には、試験場関係者15名、委託関係

者112名ほか、計154名の参集を得て、裸地管理27薬剤(172点)、緑地維持3薬剤(11点)について、試験成績の報告と検討が行われた。  
その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

## 平成23年度 緑地管理関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

A 裸地管理 (一般)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・雑 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. BEH-507 フロアム イタジラム:19.1%  [N'イロップサイエンス]	緑地管理	適用性 雑統	東日本G研 関西G研 新中国G研 福岡 豊前	ねらい	一年生雑草/発生前/土壌/一般 ・処理後30日、60日、90日での調査を希望 ・展着剤は不要	実	実) [一年生雑草] ・発生前 ・35~75mL<100L>/10a ・土壌処理
				対象雑草			
				設計 薬量 <水量> /10a	土壌処理 雑草発生前 35mL <100L>/10a 50mL <100L>/10a 75mL <100L>/10a 対) フロアム 160g/10a <100L/10a>		
2. DH-024 顆粒水和 フルネキサム:50.0%  [日本曹達]	緑地管理	作用性 新規	植調研	ねらい	殺草剤/発生前/土壌/一般 ・処理後90日～120日での調査を希望	雑	雑) ・効果の確認
				対象雑草			
				設計 薬量 <水量> /10a	土壌処理 一年生雑草発生前 150g <100L>/10a 300g <100L>/10a 450g <100L>/10a 対) フロアム水和剤 160g <100L>		
3. MRH-092 粒 ブロンホ:2.0% フミジカドール:0.1%  [丸和N'イカミカ]	緑地管理	適用性 新規	J十勝 東日本G研 福岡 豊前	ねらい	一年生/発生前/土壌/一般 ・処理後60日後の調査を希望	実・雑	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草、スギ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30kg/10a ・土壌処理 雑) ・発生前、5~10kg/10a処理での効果の確認
				対象雑草			
				設計 薬量 <水量> /10a	土壌処理 雑草発生前 5kg/10a 7.5kg/10a 10kg/10a 対) 草退治V 10kg/10a		

## A. 緑地管理 (一般)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・継 続の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
4. BAH-1021 液 既知化合物:26.7%  [BASFジャパン]	緑地管 理	作用性 新規	植調研 J福岡<中間> (2)	ねらい 一年生、多年生/生育期/茎葉兼土壌/一般 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(広葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(広葉) 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈50cm以下) 800mL <100L>/10a 1000mL <100L>/10a 1400mL <100L>/10a 比) 7-セチル液剤 1000mL <100L>/10a	・茎葉処理効果の 完成時に調査を 行う ・処理後90日~120 日までの調査を 希望	継	継) ・効果の確認
	緑地管 理	適用性 新規	J古川 東日本G研 新中国G研 (3)	ねらい 一年生、多年生/生育期/茎葉兼土壌/一般 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(広葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(広葉) 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈50cm以下) 800mL <100L>/10a 800mL <150L>/10a 1000mL <100L>/10a 1000mL <150L>/10a 1400mL <100L>/10a 比) 7-セチル液剤 1000mL <100~150L>/10a	・草丈50cm程度で の散布を希望 ・効果完成時に茎 葉処理効果につ いて調査し、その 後の抑草期間も 記録する		
5. GG-200 水溶 剤:75%  [保土谷770リック]	緑地管 理	適用性 継続	植調研 新中国G研 (2)	ねらい スギナ/生育期/茎葉兼土壌/一般 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(広葉) - 多年生(科) - 多年生(広葉) - その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉兼土壌処理 スギナ生育期 750g <100L>/10a 1000g <100L>/10a 1500g <100L>/10a 対) H4H-X水溶剤 1000g <100L>/10a	・処理後60~90日 後の調査を希望 ・効果発現までの 日数を観察する ・有用植物から離 して試験を行う	実	実) [一年生雑草] ・生育期(草丈50cm以下) ・250~750g<100L>/10a ・茎葉兼土壌処理  [多年生雑草、スギナ] ・生育期(草丈50cm以下) ・750~1500g<100L>/10a ・茎葉兼土壌処理  継) スギナに対する効果の確認
6. HG-1010 液 剤:41.0%  [ハート]	緑地管 理	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 J青梅 島根 新中国G研 福岡 八女 (6)	ねらい 一年生、多年生雑草/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(広葉) 全般 多年生(科) 全般 多年生(広葉) 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 雑草茎葉処理 雑草生育期(草丈50cm以下) 500mL <100L>/10a 750mL <100L>/10a 1000mL <100L>/10a 対) グリホサートイフデビルミン塩41%液剤 500mL <100L>/10a	・効果最大時(処理 後10~20日を目 安とする)での調 査および、抑草期 間の調査を希望 ・展着剤は不要	実・継	実) [一年生雑草、多年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・500~1000mL<100L>/10a ・茎葉処理  継) ・草丈50cmでの効果の確認
7. MBH-021 液 剤:21.2%  [丸和イイカ]	緑地管 理	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 福岡 豊前 (3)	ねらい カヌ/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(広葉) - 多年生(科) - 多年生(広葉) カヌ その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期 100mL <200L>/10a 100mL <100L>/10a 200mL <100L>/10a 対) ゴイロリン液剤 1000mL <200L>/10a	・6~7月の処理を 希望 ・処理後30~60日 での調査を希望	継	継) ・効果の確認

A. 裸地管理 (一般)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
7. MBH-021 液 つづき	緑地管理	適用性 新規	植調研(2) 新中国G研	ねらい 雑灌木/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 雑灌木 その他 設計 薬量 (水量) /10a 100mL <200L>/10a 100mL <100L>/10a 200mL <100L>/10a 対) 9-β-BDF 20g <200L>/10a	・イフハジ、ギンム、ヒメアカシ等を対象とする ・1.5m程度までの樹高にて6~7月の処理を希望。 ・処理後30~60日での調査を希望		
8. MBH-022 液 [丸和ハイオキカ]	緑地管理	適用性 新規	東日本G研<翌春> 新中国G研 福岡 豊前	ねらい 一年生広葉、多年生広葉/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 200mL <200L>/10a 200mL <100L>/10a 400mL <100L>/10a 比) プラスコン液剤 1500mL <200L>/10a	・処理後30~60日での調査を希望	継	継) ・効果の確認
9. NH-007 プロアブル グリンサートイフ ロビルアミン塩:30.0% ビラフエンエチル:0.16% [日本農業]	緑地管理	適用性 新規	東日本G研<翌春> J埼玉 <翌春> 福岡 筑後<翌春>	ねらい スギナ根絶/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 スギナ生育期(草丈30cm以下) 2000mL <100L>/10a 3000mL <100L>/10a 4000mL <100L>/10a 比) ラクトアブマックスロッド 1500~2000mL <50~100L>/10a	・展着剤は不要 ・翌春の再生防止効果を調査する	実・継	実) [スギナ] ・生育期(草丈20cm程度) 1000~2000mL<100L>/10a 茎葉処理 継) ・スギナに対する根絶効果の確認
10. RGH-1105 液 [理研グリーン]	緑地管理	作用性 新規	植調研	ねらい 雑かん木の切り株塗布処理 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 雑かん木 設計 薬量 (水量) /10a 塗布処理 雑かん木伐採後、再生前 3倍液 <切り口全体に十分量を塗布> 5倍液 <切り口全体に十分量を塗布> 10倍液 <切り口全体に十分量を塗布>	・年内効果及び翌春の抑制効果を確認する ・切り株の直径と薬液塗布量を記録する	継	継) ・効果の確認
	緑地管理	適用性 新規	東日本G研<翌春> J埼玉 <翌春> 新中国G研<翌春>	ねらい 雑かん木の切り株塗布処理 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 雑かん木 設計 薬量 (水量) /10a 塗布処理 雑かん木伐採後、再生前 5倍液 <切り口全体に十分量を塗布> 10倍液 <切り口全体に十分量を塗布>	・年内効果及び翌春の抑制効果を確認する ・切り株の直径と薬液塗布量を記録する		
11. SB-211 プロアブル グリンサートイフ ロビルアミン塩:20% カルフェントラブエンチル:2% [イヌゲイ・イスハイテック]	緑地管理	適用性 継続	島根 香川 府中 福岡 筑後	ねらい 一年生/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 雑草生育期(30cm以下) 500mL <100L>/10a 750mL <100L>/10a 1000mL <100L>/10a 対) ハチ液 500mL <100L>/10a 対) ラクトアブマックスロッド液 500mL <100L>/10a	・処理後30日程度での調査を希望 ・効果発現の確認のため、処理後5日程度で、さらに、抑草期間確認するため60日後まで観察を行う ・展着剤は不要	実・継	実) [一年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・500~1000mL<100L>/10a ・茎葉処理 継) ・一年生雑草に対する効果について、年次変動の確認 ・多年生雑草に対する効果の確認

A. 裸地管理 (一般)

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・雑 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
11. SB-211 707ﾌﾟﾙ つづき	緑地管理	適用性 新規	東日本G研 島根 福岡 筑後	ねらい 多年生、ｽﾀﾞﾅ/生育期/茎葉/一般 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 全般 多年生広葉 全般 その他 ﾏﾞﾅ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期 (30cm以下) 1000mL <100L>/10a 1500mL <100L>/10a 2000mL <100L>/10a 対) ﾈﾞﾅ 雑草生育期 (30cm以下) 1000mL <100L>/10a 対) ﾏﾞﾝﾄﾞ ﾏﾞｯﾌﾟ ﾏﾞｯﾌﾟ ﾏﾞｯﾌﾟ 1000mL <100L>/10a	処理後30日程度 での調査を希望 ・効果発現の確認 の為、処理後5日 程度で、さらに、 抑草期間確認す るため60日後ま で観察を行う ・展着剤は不要		

A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・雑 の 別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. GG-145 粒 ﾍﾞｷﾞｼﾞﾝ:1.0% DBN:0.7% [保土谷ﾌﾞﾗﾝｸ]	緑地管理	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中国G研 福岡 筑後	ねらい ｽﾀﾞﾅ/生育初期/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 ﾏﾞﾅ 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 ﾏﾞﾅ 生育初期 30g/m <sup>2</sup> 40g/m <sup>2</sup> 50g/m <sup>2</sup> 対) こっばみじん 30g/m <sup>2</sup>	・処理後60～90日 での調査を希望 ・効果発現までの 日数を記録する ・有用植物から離 して試験を行う	実・雑	実) [一年生雑草] ・生育初期 (草丈20cm以下) ・15～30g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 [多年生広葉雑草、ｽﾀﾞﾅ] ・生育初期 (草丈20cm以下) ・30～50g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・セウｶﾞﾌﾞﾗﾝｸ、ｲﾄﾞﾘ等大型多年 生広葉雑草を対象としない場 面 で使用する 雑) ・多年生仔科雑草に対する効果の 確認 → ﾏﾞﾅに対する効果の確認
2. GG-149 粒 ﾍﾞｷﾞｼﾞﾝ:1.0% DCMU:3.0% [保土谷ﾌﾞﾗﾝｸ]	緑地管理	適用性 継続	植調研 J埼玉 新中国G研 福岡 筑後	ねらい 多年生仔科・ｽﾀﾞﾅ/生育初期/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 全般 多年生広葉 - その他 ﾏﾞﾅ 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 多年生雑草生育初期 (草丈20cm以下) 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 対) ﾈﾞｺﾞｷ ﾏﾞｯﾌﾟ DX 15g/m <sup>2</sup>	・処理後60～90日 での調査を希望 ・処理後120日程度 まで観察を行う ・効果発現までの 日数を記録する ・有用植物から離 して試験を行う	実・雑	実) [一年生雑草] ・発生前 ・5～15g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 [一年生雑草、多年生広葉雑草、ｽﾀﾞﾅ] ・生育初期 (草丈20cm以下) ・15～30g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・セウｶﾞﾌﾞﾗﾝｸ、ｲﾄﾞﾘ等大型多年 生広葉雑草を対象としない場 面 で使用する 雑) ・生育期処理での効果の確認 ・多年生仔科雑草に対する効果の 確認 → ﾏﾞﾅに対する効果の確認
3. GG-161 粒 ｼﾞｱﾅｼﾞﾝ:0.5% DBN:0.5% ﾀﾞﾊﾞ ﾏﾞ:0.5% [保土谷ﾌﾞﾗﾝｸ]	緑地管理	適用性 継続	J北海道 J古川 植調研 新中国G研	ねらい 一年生雑草・多年生広葉雑草・ｽﾀﾞﾅ /発生前/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 全般 その他 ﾏﾞﾅ 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草発生前 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 40g/m <sup>2</sup> 対) ｶﾝﾄﾞ粒剤2.5 20g/m <sup>2</sup>	・処理後45～60日 での調査を希望 ・後発生の雑草に 対する抑草効果 を確認する ・有用植物から離 して試験を行う	実・雑	実) [一年生雑草、多年生広葉雑 草、ｽﾀﾞﾅ] ・発生前 ・15～40g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・セウｶﾞﾌﾞﾗﾝｸ、ｲﾄﾞﾘ等大型多年 生広葉雑草を対象としない場 面 で使用する 雑) ・ｽﾀﾞﾅに対する効果について年次 変動の確認

A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
4. GG-175 粒 DBN:1.0% DCMU:1.0%  [保土谷7ガ ロテック]	緑地管理	適用性 継統	J北海道 J古川 植調研 新中国G研	ねらい 一年生雑草・多年生広葉雑草・スギナ /発生始期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 土壌処理 雑草発生始期 薬量 <水量> /10a 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 40g/m <sup>2</sup> 対) カロ粒剤2.5 20g/m <sup>2</sup>	・処理後45～60日 での調査を希望 ・後発生の雑草に 対する抑草効果 を確認する ・有用植物から離 して試験を行う	実	実) [一年生雑草, 多年生広葉雑 草, スギナ] ・発生始期 ・15～40g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・セイヤワグナリ, イドリ等大型多年 生広葉雑草を対象としない場 面で使用する
5. GG-200 粒 ヘキサジノ:1.5%  [保土谷7ガ ロテック]	緑地管理	適用性 継統	東日本G研 J埼玉	ねらい 一年生1科雑草/生育期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 - 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 土壌処理 一年生雑草生育期(草丈30cm以下) 薬量 <水量> /10a 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 対) こっばみじん 15g/m <sup>2</sup>	・処理後60～90日 での調査を希望 ・効果発現までの 日数を記録する ・有用植物から離 して試験を行う	実	実) [一年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・15～30g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 [多年生雑草, スギナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・30～60g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・スギ, スギナ, セイヤワグナリ, イドリ等 大型多年生雑草を対象としな い場面で使用する  継) 一年生1科雑草に対する効果に ついて年次変動の確認
6. HAT-101 粒 ヘキサジノ:1.0% DCBN:1.0% ターボシホ:1.0%  [保土谷7ガ ロテック]	緑地管理	適用性 新規	植調研 新中国G研 福岡 八女	ねらい 一年生雑草/発生前/土壌/家庭用 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 土壌処理 雑草発生前 薬量 <水量> /10a 5g/m <sup>2</sup> 10g/m <sup>2</sup> 15g/m <sup>2</sup> 対) ネコギ トップ DX 5g/m <sup>2</sup>	・処理後60～90日 での調査を希望 ・処理後120日程度 まで観察を行う ・効果発現までの 日数を記録する ・有用植物から離 して試験を行う	継	継) ・効果の確認
	緑地管理	適用性 新規	植調研 新中国G研 福岡 八女	ねらい 一年生・多年生雑草・スギナ/生育初期/土 壌/家庭用 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 薬量 <水量> /10a 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 対) ネコギ トップ DX 15g/m <sup>2</sup>	・処理後60～90日 での調査を希望 ・処理後120日程度 まで観察を行う ・効果発現までの 日数を記録する ・有用植物から離 して試験を行う	継	継) ・効果の確認
7. HAT-102 粒 ヘキサジノ:0.7% DCMU:2.0%  [保土谷7ガ ロテック]	緑地管理	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 新中国G研	ねらい 一年生雑草/生育初期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 薬量 <水量> /10a 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 対) こっばみじん 15g/m <sup>2</sup>	・処理後60～90日 での調査を希望 ・効果発現までの 日数を記録する ・有用植物から離 して試験を行う	継	継) ・効果の確認

A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
7. HAT-102 粒 つづき	緑地管理	適用性 新規	植調研 J埼玉 新中国G研	ねらい 多年生広葉雑草・スギナ/生育初期/土壌/家庭用 (3) 対象 雑草 一年生1科 - 一年生広葉 - 多年生1科 - 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 30g/m <sup>2</sup> 50g/m <sup>2</sup> 60g/m <sup>2</sup> 対) こっぴみじん 30g/m <sup>2</sup>	処理後60~90日 での調査を希望 ・効果発現までの 日数を記録する ・有用植物から離 して試験を行う		
8. HAT-103 粒 DCMU:1.0% DBN:0.5% 既知化合物:0.7%  [保土谷7g ロテック]	緑地管理	適用性 新規	新潟 畜産研 東日本G研 新中国G研	ねらい 一年生雑草/発生前/土壌/家庭用 (3) 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草発生前 10g/m <sup>2</sup> 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 対) 初0粒剤2.5 20g/m <sup>2</sup>	処理後45~60日 での調査を希望 ・有用植物から離 して試験を行う	雑	雑) ・効果の確認
	緑地管理	適用性 新規	植調研 J埼玉 新中国G研	ねらい 一年生・多年生広葉・スギナ/生育初期/土壌/家庭用 (3) 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以下) 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 対) オートラ-粒剤 20g/m <sup>2</sup>	処理後45~60日 での調査を希望 ・有用植物から離 して試験を行う		
9. HPW-107 粒 シアジン:1.0% DCMU:2.0% DBN:1.0%  [保土谷UPL 保土谷化学工業]	緑地管理	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中国G研	ねらい 一年生・多年生広葉・スギナ/生育初期/茎葉/家庭用 (3) 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 全般(大型多年生広葉雑草を除く) その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草生育初期(草丈20cm以内) 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 50g/m <sup>2</sup> 対) オートラ-粒剤 20g/m <sup>2</sup>	・草丈20cm以内で 散布する ・処理後90日頃の 調査を希望	実	実) [一年生雑草、多年生広葉雑 草、スギナ] ・生育初期(草丈20cm以下) ・30~50g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・セトカワガ/チリ、イドリ等大型多年 生広葉雑草を対象としない場 面で使用する  雑) - 年次変動の確認 - 一年生1科雑草に対する効果の 確認 - スギナに対する効果の確認 ・20g/m <sup>2</sup> 処理での効果の確認
10. MBH-081 粒 アロキシ:1% ジメチアトP:1%  [丸和P イチマカ]	緑地管理	適用性 新規	J十勝 東日本G研 J青梅	ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 (3) 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草発生前 7.5g/m <sup>2</sup> 10g/m <sup>2</sup> 15g/m <sup>2</sup> 対) 草退治V 10g/m <sup>2</sup>	・処理後60日での 調査を希望	実・雑	実) [一年生雑草、多年生広葉雑 草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・15~30g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・セトカワガ/チリ、イドリ等大型多年 生広葉雑草を対象としない場 面で使用する  雑) ・発生前(7.5~15g/m <sup>2</sup> )処理での 効果の確認 ・生育初期処理での一年生1科雑 草に対する効果について年次変 動の確認 ・生育初期処理でのスギナに対する 効果の確認

A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
11. MBH-091 粒 プロモシ:1.5% MCP:0.7% [丸和ハ イカミカ]	緑地管理	適用性 新規	植調研 J埼玉 新中国G研	(3) ねらい 一年生雑草/発生前/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計薬量 雑草発生前 <水量> 10g/m <sup>2</sup> /10a 15g/m <sup>2</sup> 20g/m <sup>2</sup> 対) 草退治V 10g/m <sup>2</sup>	・処理後60日での 調査を希望	実・継 (従 来 ど お り)	実) [一年生雑草, 多年生広葉雑 草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・20~40g/m <sup>2</sup> ・土壌処理 注) ・セイヤワグチカ、イドリ等大型多年 生広葉雑草を対象としない場 面で使用する 継) ・発生前(10~20g/m <sup>2</sup> )処理での効 果の確認 ・生育初期処理でのスギナに対する 効果の確認
12. MBH-112G 粒 既知化合物A:2.0% 既知化合物B:1.5% MCP:1.5% [丸和ハ イカミカ]	緑地管理	適用性 新規	J十勝 J埼玉 島根	(3) ねらい 一年生/発生前/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 - 設計薬量 雑草発生前 <水量> 5g/m <sup>2</sup> /10a 7.5g/m <sup>2</sup> 10g/m <sup>2</sup> 対) ノコギリ 7.5g/m <sup>2</sup>	・処理後60日での 調査を希望	継	継) ・効果の確認
	緑地管理	適用性 新規	新潟 畜産研 茨城大 島根	(3) ねらい 一年生, 多年生広葉/生育初期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計薬量 雑草生育初期(草丈20cm以下) <水量> 15g/m <sup>2</sup> /10a 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 対) オキザラ 20g/m <sup>2</sup>	・処理後90日での 調査を希望 ・スギナに対する効 果を確認する		
	緑地管理	適用性 新規	新潟 畜産研 茨城大 香川 府中	(3) ねらい 多年生(科)/生育期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) 全般 多年生広葉 - その他 - 設計薬量 雑草生育期(草丈30cm以下) <水量> 30g/m <sup>2</sup> /10a 50g/m <sup>2</sup> 60g/m <sup>2</sup> 対) オキザラ 40g/m <sup>2</sup>	・処理後90日での 調査を希望 ・スギナに対する効 果を確認する		
	緑地管理	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 新中国G研	(3) ねらい 雑/生育期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 雑類 設計薬量 雑草生育期(草丈30cm以下) <水量> 30g/m <sup>2</sup> /10a 50g/m <sup>2</sup> 60g/m <sup>2</sup> 対) オキザラ 40g/m <sup>2</sup>	・処理後90日での 調査を希望		
13. SB-216 粒 アミカルバゾン:0.5% [エステイ・エス・イ ツ]	緑地管理	作用性 新規	植調研 J福岡<中間>	(2) ねらい 殺草剤(トラム)/生育期/土壌/家庭用 対象雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 - 設計薬量 雑草生育初期(20cm以下) <水量> 10g/m <sup>2</sup> /10a 20g/m <sup>2</sup> 30g/m <sup>2</sup> 40g/m <sup>2</sup> 50g/m <sup>2</sup> 対) オキザラ 30g/m <sup>2</sup>		-	(作用性)

A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・維 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
13. SB-216 粒 つづき	緑地管 理	作用性 新規	植調研 J福岡<中間> (2)	ねらい 一年生・多年生/処理時期別/土壌/家庭用 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 全般 多年生広葉 全般 設計 薬量 <水量> /10a 土壌処理 雑草発生前 20g/m <sup>2</sup> , 40g/m <sup>2</sup> 雑草生育初期(20cm以下) 20g/m <sup>2</sup> , 40g/m <sup>2</sup> 雑草生育期(30cm以下) 20g/m <sup>2</sup> , 40g/m <sup>2</sup> 対) オ-ルター 雑草発生前, 雑草生育初期, 雑草生育期 30g/m <sup>2</sup>			
14. AK-01 (AL) 液 ゲリホートイソフ ロビ アミン 塩:1% [TAC普及会]	緑地管 理	適用性 継続	東日本G研 関西G研 香川 府中 福岡 筑後	ねらい スギナ生育期/茎葉/家庭用 対象 雑草 一年生1科 - 一年生広葉 - 多年生1科 - 多年生広葉 - その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 生育期(草丈30cm以下) 80mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) 草退治シワ 80mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・処理後30~45日 での調査を希望	実・維	[一年生雑草, 多年生雑草 (スギナを除く)] ・生育期(草丈30cm以下) ・20~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 [スギナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・100mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 [スギナ] ・80mL/m <sup>2</sup> 処理でのスギナに対する 効果の確認
15. GL-40 液 ゲリホートイソフ ロビ アミン 塩:1.3% MCPAイソフ ロビ アミン 塩:0.25% [住友化学園芸]	緑地管 理	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 少量散布での草丈及び被度における効 果の確認 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 全般 多年生広葉 全般 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈10cm程度) 10mL, 15mL, 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 雑草生育期(草丈20cm程度) 10mL, 15mL, 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 雑草生育期(草丈30cm程度) 10mL, 15mL, 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・草種及び草丈、被 度の違いによる効 果差について調 査を行う	実・維	[一年生雑草, 多年生雑草, スギナ] ・生育期(草丈30cm以下) ・10~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 注) ・10~20mL/m <sup>2</sup> 処理ではスギナを除 く 維) ・10~20mL/m <sup>2</sup> 処理での年次変動 の確認
	緑地管 理	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 関西G研 新中国G研	ねらい 低処理量への拡大(一年生雑草) 対象 雑草 一年生1科 全般 一年生広葉 全般 多年生1科 - 多年生広葉 - 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 10mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 15mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) ラウンドアップ マックスロッド AL 15mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器 を用いて試験を 行う		
	緑地管 理	適用性 新規	東日本G研 J埼玉 関西G研 新中国G研	ねらい 低処理量への拡大(多年生雑草) 対象 雑草 一年生1科 - 一年生広葉 - 多年生1科 全般 多年生広葉 全般 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 10mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 15mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) ラウンドアップ マックスロッド AL 15mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器 を用いて試験を 行う		



A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・型 新・継 の 別	試験担当場所 ◇は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
16. HAT-104 液 ヘチジノール:0.4%  [保土谷7ゲテック]	緑地管理	作用性 新規	東日本G研 植調研	(2) ねらい 対象雑草 一年生雑草/生育期/茎葉/家庭用 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 60mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 80mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器を用いて試験を行う ・効果の発現日、茎葉処理効果の完成時での調査を希望 ・土壌処理効果については処理後60日までの調査を行う	-	(作用性)
	緑地管理	作用性 新規	東日本G研 植調研	(2) ねらい 対象雑草 多年生雑草、スギナ/生育期/茎葉/家庭用 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 全面茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 60mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 80mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器を用いて試験を行う ・効果の発現日、茎葉処理効果の完成時での調査を希望 ・土壌処理効果については処理後60日までの調査を行う ・スギナに対する効果を確認する	-	
17. HJ-101 液 グリホサート:0.2%  [ハイネックスジャパン]	緑地管理	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中国G研	(3) ねらい 対象雑草 一年生雑草、多年生雑草、スギナ/生育期/茎葉/家庭用 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 75mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 150mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) N 液剤0.2 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器を用いて試験を行う ・処理後7日、14日、28日頃の調査を希望	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・75~150mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理  継) ・多年生仔科雑草に対する効果の確認 ・スギナに対する効果の確認
	緑地管理	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 新中国G研	(3) ねらい 対象雑草 一年生雑草、多年生雑草、スギナ/生育期/茎葉/家庭用 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 ビゴクワ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 ビゴクワ生育期 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 150mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) クサキNAL 50mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・専用の散布容器を用いて試験を行う ・効果発現日(散布当日若しくは1日後)を記録し、効果完成日(目安として散布3~5日後)での調査を希望 ・調査30日後まで区内の再生、後発生について観察を行う	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草、ビゴクワ] ・生育期(草丈30cm以下) ・100~150mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理  継) ・スギナに対する効果の確認 ・ビゴクワに対する効果の確認
19. MBH-098 乳 ベラゴン酸:40%  [丸和イワシカ]	緑地管理	適用性 継続	植調研 新中国G研 西日本G研	(1) ねらい 対象雑草 一年生、多年生雑草/生育期/茎葉/家庭用 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 全般 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(30cm以下) 5mL <100mL>/m <sup>2</sup> 5mL <150mL>/m <sup>2</sup> 7.5mL <100mL>/m <sup>2</sup> 対) N 液剤 1mL <100mL>/m <sup>2</sup>	・効果の発現時、効果の完成時での調査を希望	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・5~7.5mL<100~150mL>/m <sup>2</sup> ・茎葉処理  継) ・多年生仔科雑草に対する効果の確認 ・一年生雑草に対する効果の確認 ・スギナに対する効果の確認 ・ビゴクワに対する効果の確認
	緑地管理	適用性 継続	植調研 新中国G研 西日本G研	(3) ねらい 対象雑草 一年生、多年生雑草/生育期/茎葉/家庭用 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 ビゴクワ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 ビゴクワ生育期 5mL <100mL>/m <sup>2</sup> 5mL <150mL>/m <sup>2</sup> 7.5mL <100mL>/m <sup>2</sup> 対) クサキNAL 50mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	・効果発現日(散布当日若しくは1日後)を記録し、効果完成日(目安として散布3~5日後)での調査を希望 ・調査30日後まで区内の再生、後発生について観察を行う	-	

A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
20. MBH-101AL 液 ク'リホーイワ'ロビ'ルアミ ン塩:1.0%, アミノシクロピ'ラクロ ル:0.025%  [丸和'イワミカ]	緑地管 理	適用性 継続	東日本G研 島根 新中国G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生 多年生/生育期/茎葉兼土壌/家庭用 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 30mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) 草退治+ワ' 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・効果発現日、茎葉 処理効果の完成 時(処理後14~21 日程度)での調査 を希望 ・調査後に効果が 持続している場 合は処理後60日 まで観察する ・ｽﾀ'ナに対する効果 を確認する	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑 草] ・生育期(草丈30cm以下) ・20~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉兼土壌処理  継) ・多年生仔科雑草に対する効果の 確認 ・ｽﾀ'ナに対する効果の確認
	緑地管 理	適用性 継続	植調研 I埼玉 新中国G研 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 ｽﾀ'ナ 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 60mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 80mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) 草退治+ワ' 80mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・効果発現日、茎葉 処理効果の完成 時(処理後14~21 日程度)での調査 を希望 ・調査後に効果が 持続している場 合は処理後60日 まで観察する ・ｽﾀ'ナに対する効果 を確認する	継	継) ・効果の確認
21. MBH-114AL 液 ブ'ロア'ル:0.5%  [丸和'イワミカ]	緑地管 理	適用性 新規	植調研 香川 府中 福岡 八女 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉兼土壌処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 60mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 80mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) 草退治+ワ' 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・効果発現日、茎葉 処理効果の完成 時(処理後14~ 21日程度)での 調査を希望 ・調査後に効果が 持続している場 合は処理後90日 まで観察する ・ｽﾀ'ナに対する効果 を確認する	継	継) ・効果の確認
	緑地管 理	適用性 新規	I古川 東日本G研 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 15mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) わ'ワ' AL1.0 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・調査は効果完成 時に行い、その後 の抑草期間につ いても記録する	実・継	実) [一年生雑草、多年生雑草 (ｽﾀ'ナを除く)] ・生育期(草丈30cm以下) 15~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) 茎葉処理  継) ・15~25mL/m <sup>2</sup> 処理での年次変動 の確認
22. MRS-199 液 ク'リホーイワ'ロビ'ルアミ ン塩:1.0%  [ニューファ]	緑地管 理	適用性 新規	I古川 東日本G研 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 15mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) わ'ワ' AL1.0 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・調査は効果完成 時に行い、その後 の抑草期間につ いても記録する	実・継	実) [一年生雑草、多年生雑草 (ｽﾀ'ナを除く)] ・生育期(草丈30cm以下) 15~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) 茎葉処理  継) ・15~25mL/m <sup>2</sup> 処理での年次変動 の確認
	緑地管 理	適用性 新規	I古川 東日本G研 関西G研 新中国G研 (4)	ねらい 対象 雑草 一年生仔科 - 一年生広葉 - 多年生仔科 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 15mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) わ'ワ' AL1.0 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・調査は効果完成 時に行い、その後 の抑草期間につ いても記録する	実・継	実) [一年生雑草、多年生雑草 (ｽﾀ'ナを除く)] ・生育期(草丈30cm以下) 15~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) 茎葉処理  継) ・15~25mL/m <sup>2</sup> 処理での年次変動 の確認
23. MRS-301AL 液 ク'リホーイワ'ロビ'ルアミ ン塩:0.83% 2,4-Dイワ'ロビ'ルアミ ン塩:0.41%  [ニューファ]	緑地管 理	適用性 継続	東日本G研 関西G研 福岡 八女 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) わ'ワ' 液剤AL 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・処理後60日程 度での調査を希望	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑 草] ・生育期(草丈30cm以下) ・25~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理  継) ・多年生仔科雑草に対する効果の 確認 ・ｽﾀ'ナに対する効果の確認
	緑地管 理	適用性 継続	東日本G研 関西G研 福岡 八女 (3)	ねらい 対象 雑草 一年生仔科 全般 一年生広葉 全般 多年生仔科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) わ'ワ' 液剤AL 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う ・処理後60日程 度での調査を希望	実・継	実) [一年生雑草、多年生広葉雑 草] ・生育期(草丈30cm以下) ・25~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理  継) ・多年生仔科雑草に対する効果の 確認 ・ｽﾀ'ナに対する効果の確認

A. 裸地管理 (家庭用)

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
23. MRS-301AL 液 つづき	緑地管理	適用性 継続	東日本G研 関西G研 福岡 八女	ねらい (3) 対象 雑草 一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 25mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) ねがひ 液剤AL 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	専用の散布容器 を用いて試験を 行う 処理後60日程度 での調査を希望		
24. SAH-0107 液 グ リー ト (ソ) デ 87ミ ン塩:1% [住商アグ ロンテナショウ カ]	緑地管理	適用性 新規	J古川 植調研 J埼玉 関西G研 新中國G研 香川 府中 J福岡	ねらい (7) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 雑草生育期(草丈30cm以下) 20mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 40mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布> 対) マキ リー タ 500mL <100L>/10a	専用の散布容器 を用いて試験を 行う 効果完成時(目安 として処理後20 日)での調査を希望 抑草期間も調査 する	実・継	実) [一年生雑草、多年生雑草] ・生育期(草丈30cm以下) ・20~40mL/m <sup>2</sup> (希釈せずそのまま散布) ・茎葉処理 継) ・年次変動の確認
25. SB-920 乳 d-リン酸:70% [エス・デー・イー・エス・バィ ツカ]	緑地管理	適用性 継続	東日本G研 関西G研 福岡 筑後	ねらい (3) 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) 全般 多年生広葉 全般 その他 スギナ 設計 薬量 (水量) /10a 茎葉処理 雑草生育初期(20cm以下) 15mL <100mL>/m <sup>2</sup> 20mL <100mL>/m <sup>2</sup> 25mL <100mL>/m <sup>2</sup> 対) ねがひ AL 100mL/m <sup>2</sup> <希釈せずそのまま散布>	雑草全体にむら なく散布する 処理7日後を目安 に調査を行う	実・継	実) [一年生広葉雑草、多年生広葉 雑草] ・生育初期(草丈20cm以下) ・20~25mL <100mL>/m <sup>2</sup> ・茎葉処理 継) ・15mL/m <sup>2</sup> 処理での効果の確認 ・一年生(科)雑草に対する効果 の確認 ・多年生(科)雑草に対する効果 の確認 ・スギナに対する効果の確認

B. 緑地維持 (抑草)

薬剤名 有効成分および 含有率 (%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備 考	判定	判定内容
1. NGR-1101 液 フルアリドール:48.1 [日本農業]	樹木:シ カシ	適用性 新規	J埼玉 新中國G研 福岡 林業	ねらい (3) 設計 薬量 (水量) /10a 新梢伸長抑制/樹幹注入処理 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 0.5mL/穴、幹周り10cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔 2mL/穴、幹周り10cm間隔(倍量区)	専用処理機を用 いて樹幹に直接 注入する 樹木の幹周り 10cm間隔に一穴 当たり0.5~1ml を樹幹注入する 可能であれば幹 周り40cm程度(以 上)の樹木を選定 して試験行う	継	継) ・効果、葉害の確認
	樹木:シ カシ	適用性 新規	自社試験	ねらい (1) 設計 薬量 (水量) /10a 新梢伸長抑制/樹幹注入処理(自社) 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 0.5mL/穴、幹周り10cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔 2mL/穴、幹周り10cm間隔(倍量区)	専用処理機を用 いて樹幹に直接 注入する 樹木の幹周り 10cm間隔に一穴 当たり0.5~1ml を樹幹注入する 可能であれば幹 周り40cm程度(以 上)の樹木を選定 して試験行う		
	樹木:ヤ マヒ	適用性 新規	自社試験	ねらい (1) 設計 薬量 (水量) /10a 新梢伸長抑制/樹幹注入処理 樹幹直接注入(専用器具使用) 樹木新梢伸長期 0.5mL/穴、幹周り10cm間隔 1mL/穴、幹周り10cm間隔 2mL/穴、幹周り10cm間隔(倍量区)	専用処理機を用 いて樹幹に直接 注入する 樹木の幹周り 10cm間隔に一穴 当たり0.5~1ml を樹幹注入する 可能であれば幹 周り40cm程度(以 上)の樹木を選定 して試験行う		

## B. 緑地維持 (抑草)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
2. NPK-063 水和 78アミノ-D-β:50% [日本農業]	緑地管 理	適用性 新規	J古川 東日本G研 新中国G研 (3)	ねらい 設計 薬量 <水量> /10a 雑草発生前・始期処理/抑草/一般 全面土壌処理 雑草発生前 400g/10a <100L/10a> 400g/10a <300L/10a> 800g/10a <100L/10a> 全面茎葉兼土壌処理 雑草発生前 400g/10a <100L/10a> 400g/10a <300L/10a> 800g/10a <100L/10a>	・散布水量100/10a への拡大 ・対象雑草:一年生 雑草, 多年生広葉 雑草	実	実) 一年生雑草, 多年生広葉雑 草, 草丈の伸長抑制 ・雑草発生前~始期 ・400~800g<100~300L>/10a ・土壌処理 継) ・使用場面, 草種について

## B. 緑地維持 (特定植生の維持)

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種・類 新・継 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
1. SL-160 顆粒水和 78アミノ-D-β:25% [石原産業]	センビ ドグラス	作用性 継続	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 設計 薬量 <水量> /10a センビドグラス/特定植生維持/萌芽始 期~揃期薬害 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 カヤリグサ科 茎葉兼土壌処理(展着剤加用) センビドグラス萌芽始期 30g <100L>/10a 60g <100L>/10a センビドグラス萌芽最盛期 30g <100L>/10a 60g <100L>/10a センビドグラス萌芽揃期 30g <100L>/10a 60g <100L>/10a	・センビドグラスの 被度を記録する ・最終調査は処理 90日後程度に行 う ・展着剤を加用す る	実・継	実) 特定植生の維持;センビドグ ラス [一年生雑草, 多年生広葉 雑草] ・センビドグラス生育期(匍匐茎伸 長始期以降, 但し, 萌芽期を除 く) 雑草生育初期(草丈20cm以下) ・10~30g<100L>/10a ・茎葉兼土壌処理 注) ・展着剤を加用する ・処理後一時的にセンビドグ ラスが赤褐色を呈する場合がある 継) ・一年生/科雑草に対する効果の 確認 ・薬害の発生要因について ・水量200L/10a処理での効果, 薬 害の確認
	センビ ドグラス	適用性 継続	植調研 (2)	ねらい 対象 雑草 設計 薬量 <水量> /10a センビドグラス/特定植生維持 一年生/科 全般 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 カヤリグサ科 茎葉兼土壌処理(展着剤加用) 生育期(匍匐茎伸長始期以降/草丈20cm以下) 10g <100L>/10a 10g <200L>/10a 20g <200L>/10a 30g <200L>/10a	・処理時の雑草葉 齢, 草丈等を記録 する ・センビドグラスの 被度を記録する ・センビドグラス萌 芽期での処理は 避ける ・一年生/科雑草 の発生する圃場 での試験を希望 ・最終調査は処理 90日後程度に行 う ・展着剤を加用す る		